

森林・緑に対するPR活動 (フォレストピア in 水源の森林)

久々野高山営林署 地域振興センター 森林レクリエーション係長 稲垣 善二
森林レクリエーション係 鈴木 永江

1. はじめに

当署では、例年、森林・林業及び緑の普及・啓蒙のため関係者及び関係機関を対象とした「植樹祭」を実施してきましたが、最近では、地域関係市町村との共催や、児童を対象とした「森林教室」を取り入れるなど、内容の充実とPR効果の増大に努めてきたところです。

近年、一般市民においては、身近な環境問題として生活に欠かせない水の源である森林への関心が急速に高まるとともに、余暇の増大に伴うレクリエーションの場として森林とのふれあいを強く求める等多様化・高度化しています。

このような状況から、平成9年度は植樹祭に代わり一般市民を対象として、

- (1) 森林と緑とのふれあいの場を提供すること
- (2) 森林と水との関わりその他森林の果たしている役割を知って頂くこと
- (3) より高い機能を有した森林を育て維持するための除伐・間伐等森林施業の必要性を理解して頂くこと

等を目的としたイベントを企画実行しましたので報告します。

2. 企 画

9年1月下旬、当署の行事等企画検討委員会における検討結果を受けて「植樹祭に代わる行事の実施」を決定し、2月から3月にかけて署内の例会・課内会議等において幅広く署員の意見を聞きました。

また、この時期に高山市より、「6月に水道週間にちなんだ行事を実施したい、については、フィールドの提供と協力を願いたい」と申し出がありました。

これら、署員の意見集約結果と高山市の要請を受けて、高山市との共催を決定し、以後、合同の実行委員会において、実施期日・実施内容等を検討し次の通り計画しました。

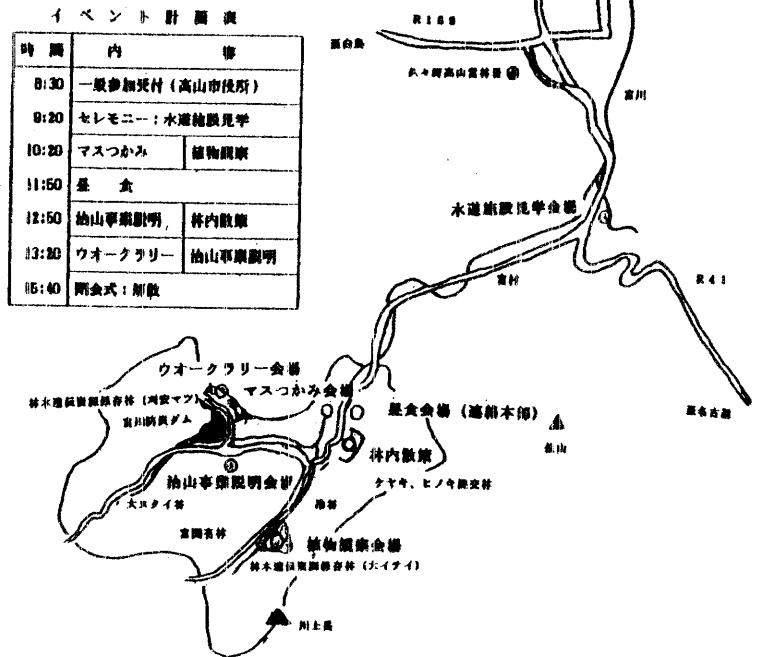
- | | |
|--------------|-----------------------|
| (1) イベント名 | 「フォレストピア in 水源の森林」 |
| (2) 実施年月日 | 平成 9年 8月23日(土曜日) |
| (3) 実施場所 | 宮村地内高山市水道施設及び宮国有林 |
| (4) 参加募集人数 | 100名 |
| (5) 会 費 | 500円 |
| (6) 実施種目及び時間 | 図ー1会場概要図「イベント計画表」のとおり |
| (7) 主 催 | 久々野高山営林署・高山市 |

3. 実施内容

当日、一般参加者は午前9時に高山市役所で受付した後、マイクロバス4台で、宮村地区内の高山市水道施設へ行き、主催者の高山市及び久々野高山営林署が挨拶、イベントの趣旨説明等を行い、参加者の代表として木や水にちなんだ名前の方に、山桜3本を記念植樹をしていただき、その後水道施設の見学をしました。

図-1

会場概要図



次に、宮国有林に移動し、河原で親子連れを主体としたマスつかみのグループと、大イチイ周辺の植物観察のグループの2つに分け、それぞれ午前中楽しみました。

マスつかみは子供向けに企画しましたが、お年寄りも多く参加し楽しんでいました。

植物観察は53名参加し、3班に分け、植物の名の由来の説明や、ホオノキが水を吸い上げる音を聴診器で聞いたり、大イチイの木の周りを自分たちで測ってみました。

昼食は、旧宮製品事業所の広場で、マスの塩焼きと豚汁をサービスしました。

昼食後は治山事業の説明の後、移動しウォークラリーを実施しました。

ウォークラリーは、宮国有林の「刈安まつの保存林」周辺の約1200m、約1時間のコースに5個所のポイントを設けて行いました。各ポイントでは昆虫・動物・木ぼっくりを探そう・森林の恵・間伐木選定のクイズを行い、間伐の体験をしました。今まで木を切ったことのない小学生も真剣に取り組んでいました。最後に実際に間伐が行われている間伐見本林の説明を聞いて、ゴールしました。

閉会式において、ウォークラリー入賞者を表彰し、解散しました。

当日は天候にも恵まれ、ケガ人なども無く、午後4時ころ無事終了致しました。

4. 実施結果

(1) 参加者等

当日の一般市民参加者は、男性49名・女性45名の計94名でした。

表一 1 参 加 者 内 訳

年齢別内訳	最低年齢者	2歳	種目別参加者	午 前	植物観察	53名
	最高年齢者	82歳			マスつかみ	41名
	6歳以下	12名		午 後	ウォークラリー	79名
	7歳～18歳	21名			林内散策	13名
	19歳～49歳	12名			不参加	2名
	50歳～69歳	25名			(昼食会場で休憩)	
	70歳以上	24名				

年齢別では、2才から82才までの幅広い層からの参加があり、この内50才以上が半数を超え、特に70才以上の方が24名参加しました。

お年寄りの方たちは、自分だけでは山に行く機会が無いことから、グループで参加するなど、丁度良いイベントとなったようです。

種目別の参加者は表一1のとおりですが午後の種目に、不参加のお年寄りが2名いました。

(2) アンケート結果

参加者94名の内、一部回答もふくめて64名から回答がありました。

表一 2 ア ン ケ ー ト 結 果

	年齢別	中学生以下	20歳～ 40歳代	50歳以上	計	比率(%)
	回答者数	19	10	35	64	
設問 1 印象は	満足した	14	6	28	48	75
	まあまあ良かった	3	2	7	12	19
	やや物足りない	2	2		4	6
	期待はずれ					
設問 2 参加費500円は	高い	2		1	3	5
	これでよい	10	5	13	28	44
	安い	7	5	21	33	52
設問 3 開催時期は	5月	2		2	4	8
	6月			1	1	2
	7月	2	3	3	8	15
	8月	4	4	20	28	54
	9月	3		2	5	9.5
	10月	1	1	3	5	9.5
設問 4 ウォークラリー コースは	きつい	1		1	2	3
	ちょうど良い	12	5	13	30	49
	短い	3	5	21	29	48
設問 5 間伐体験は	もっとしたかった	1	2	6	9	18
	あれで良かった	13	6	23	42	82

第一印象では、75%の方が「満足」と答えています。

ウォークラリーについては、「丁度良い」「短い」と答えた方がほぼ同数でした。このこと

は、内容によってはもう少し長くすることも可能かと考えます。

間伐体験については、「あれでよい」が殆どでしたのであまり長く行うことを望んでいないようです。

このほか意見感想について、主なものは

「自然と水を守るために努力して下さい」

「水源・森林管理上の重さが分かりました」

「一日楽しく植物や色々な木の名前を教えてもらい勉強になりました」

「水の大切さ・森林の大切さを多くの市民に知ってもらうよう、この種の行事を数多く計画実行して下さい」

など、目的とした森林・林業への理解と、今後もイベントの開催を期待する意見感想が殆どであり、大変心強く感じました。

5. まとめ

このような「森林と水」との関わりに着目した、一般市民参加型のイベントは初めて実行したところではありますが、幅広い層から参加者があり好評であったことや、皆さんの反響から、森林と水との関わり・森林と森林施業の大切さがある程度理解されたと考えられ、このイベントは森林・みどりのPRとして一定の成果があったと言えます。

又、今回、中学・高校生も含めた青年層から中年層の参加者が少なかったことや、市の関係者との連携不足もあったことから実行体制・内容について検討し、更に充実を図る必要があると感じました。

最後に、このイベントを高山市のみならず上流・下流を通じた流域全体の市町村との連携を強化しつつ、より多くの市民に理解され楽しんで頂けるよう今後とも継続して取り組みながら、森林・緑のPRに努めたいと考えています。